

令和八年一月号

《第百五十七号》

しろへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333



睦月の祭典・行事案内

【月次祭】九時半
七日（水）
三十一日（土）
【歳旦祭】六時
一日（木）
【元始祭】九時半
三日

【例祭】十二月十六日

今年の例祭（十四年祭）は、巳年のこともあり、凡そ六十名の参列を得て斎行されました。山口県神社庁岩国支部神職の方々の祭典奉仕により、厳かな内に無事に終了することができました。



祝詞奏上

を経て、「浦安の舞」が

奉納され、

そして、白蛇保存会及び岩國白蛇神社崇敬会

会長をはじめ、神社総代、吉川事務所、県神

社庁岩国支部総代会、岩国商工会議所等の代

表による玉串奉奠、続いて近県より参列された崇敬会員の方々を加へ三十名の玉串拝礼が

ありました。祭典後の宮司挨拶では、今年巳年の参詣状況や前回の巳年との相違等についての話がありました。

勝海舟が指摘していることですが、西郷は、「人間、いかに大きな仕事をしても、そこへ岩倉の馬車が通りかかり、「これは陸軍大将の西郷だ」と言つて馬車に乗せ、日本橋蛎殻町まで送つてもらつたという話もあります。

確保してしまつたことがあつたそうです。そこへ岩倉の馬車が通りかかり、「これは陸軍大将の西郷だ」と言つて馬車に乗せ、日本橋蛎殻町まで送つてもらつたという話もあります。

勝海舟が指摘していることですが、西郷は、「人間、いかに大きな仕事をしても、そこへ岩倉の馬車が通りかかり、「これは陸軍大将の西郷だ」と言つて馬車に乗せ、日本橋蛎殻町まで送つてもらつたという話もあります。

跡を残さないことこそ大事」という考え方をもつていたらしく、何も残さないという点で一貫しています。そこは大したものだと思います。

後になつて思い残す人がいたら、自分の心事を正しくみてくれるのではないか—西郷という人は、ずっとそれを待ち続けるタイプであり、維新最大の功労者として死ぬよりも、野に屍を晒す。事実そういう死に方を選びました。．．．（略）

（おわりにより）

【推薦図書】 『素顔の西郷隆盛』

磯田道史著 新潮新書

八百二十円+税

・・・よく知られているように、西郷は自伝や日記はもちろん、一枚の写真も残し

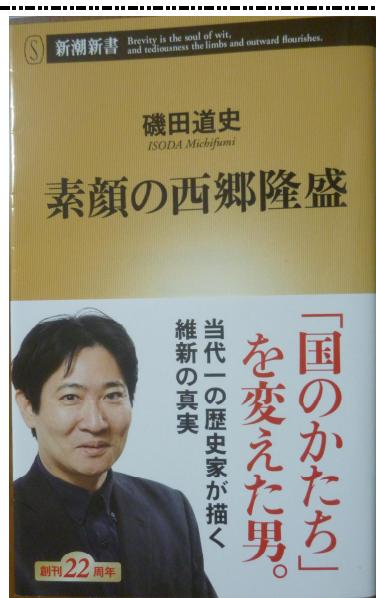
『竹田恒泰の感動する日本』

竹田恒泰著 宝島社新書

山百合の花咲く庭にいとし子を車にのせてその母はゆく
（始めての皇孫）
（昭和三十六年）

さしのぼる朝日の光へだてなく世を照らさむそ我がねがひなる
（清宮貴子の結婚）
千代かけていもせのちぎり祝ふなり
春のやよいのこの朝ぼらけ

山百合の花咲く庭にいとし子を車にのせてその母はゆく
（始めての皇孫）
（昭和三十六年）



「国のかたち」
を変えた男。

当代一の歴史家が描く
維新の眞実

ていません。維新後のある時、西郷が雨降る御所の中を裸足で歩いていると、西郷が近衛都督だと知らない警衛が西郷の身柄を

…ここでは、竹田恒泰のネット配

信から、特に、社会のため、人々のために奮闘し、身を捧げる人たちをリストします。

その最たる存在が天皇陛下です。陛下は、誰よりも国民のこと

を考え、誰よりも平和を望み、祈りを捧げています。

そして、そのことを誰よりも理解し発信し続いているのが、竹田です。私たち日本人は、豊かな自然と、素晴らしい

歴史を持っています。そして、美味しいくて豊かな食文化もあります。それらについても、本書では紹介しています。

竹田恒泰の感動する日本

竹田恒泰



※天皇陛下の被災者への愛
※古事記にノーベル平和賞を
※辛坊治郎氏を救った飛行技術
※世界が驚いた読書大国日本
※どん底から一度這い上がる日本

宝島社新書

最も信頼される国

本居宣長

『直毘靈』を読む（七）

其が中に、威力あり智り深くて、人をなつけ、人の國を奪ひ取りて、また、人に奪はるまじきことばかりをよくして、しばし國をよく治めて、後の法とも為したる人を唐土には聖人とぞ云ふなる。

（続く）

明けまして
おめでたうござります

岩國白蛇神社職員一同

【現代語訳】

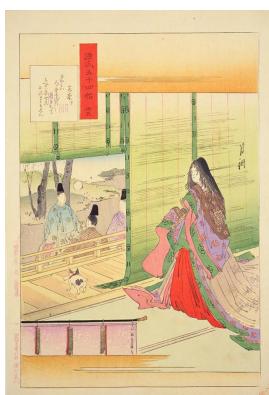
その中で、威力があり、知恵が深くて人を手なづけ、他人の國を奪ひ取つて、又、他の者に奪はれないやうにすることばかりを徹底させて、しばらくの期間、國を見事に統治して、後世の規範とした人を、中国では聖人といふやうであるよ。

本居宣長と「源氏物語」（八）

宣長といへば「古事記伝」ですが、「源氏物語」の研究も見逃すことができないでせう。

「源氏物語」が主な著書ですが、これまでの「源氏物語」研究にはない解釈をしてゐます。

それは、この物語には日本人本来の生き方



綴られてゐることに注目してゐることです。日本人古来の感性とも云へる「もののあはれ」をこの「源氏物語」から読み取るべしと宣長が伝へようとしてゐるのではないでせうか。

尚、神社下の二カ所の駐車場は、関係者のみの使用となりますので、ご了解の程お願い致します。



令和八年初詣
臨時駐車場の案内

- 旧消防署跡地（ファミリーマート隣）
(元日～4日、10日～12日)
- 麻里布小学校の校庭（元日～4日）
神社から約七〇〇メートル（中央フード左折）
- 臨時駐車場（毛利小児科の隣）
(元日～4日、10日～12日)